

26
下段子
聖徒伝 185

「目覚めよ 目覚めよ」

イザヤ書51～52章

イスラエルの贖い

アウトライン

0. イントロダクション

I. 残れる者への宣告 51:1~8

II. **目覚めよ** メシア 51:9~16

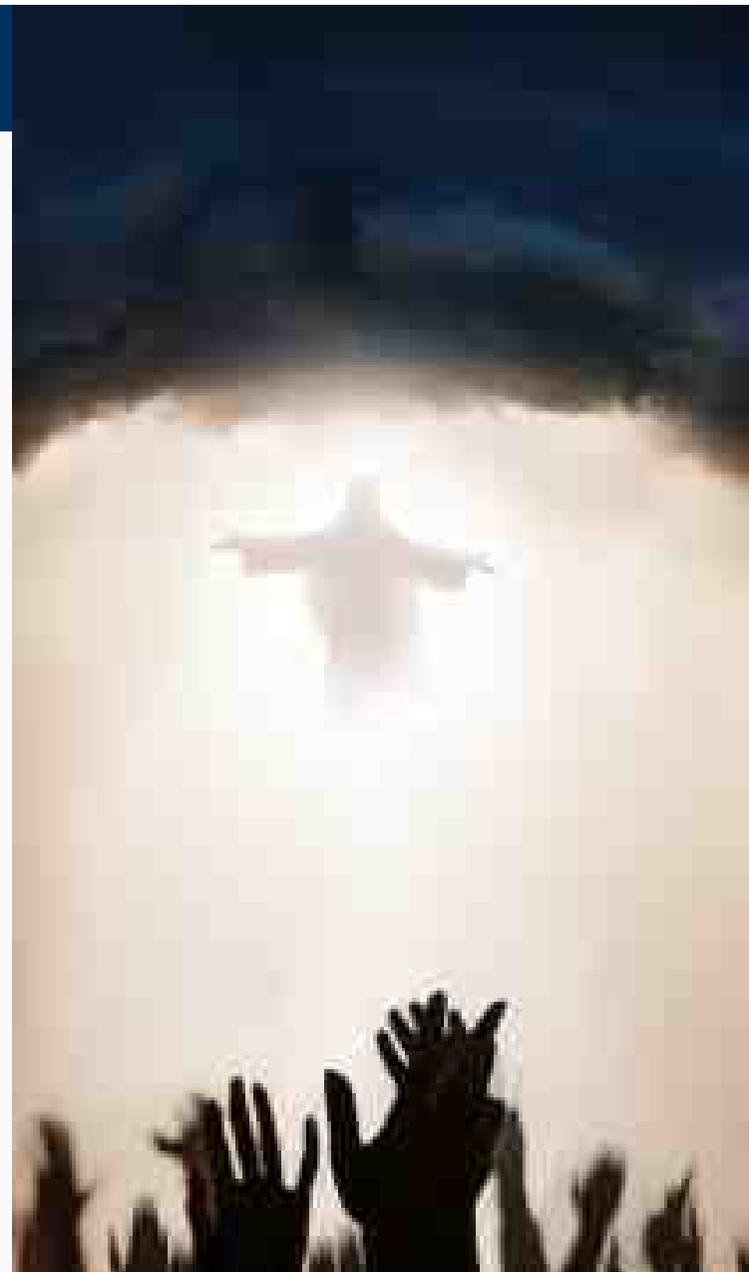
III. **目覚めよ** エルサレム 51:17~23

IV. **目覚めよ** 新しいエルサレム

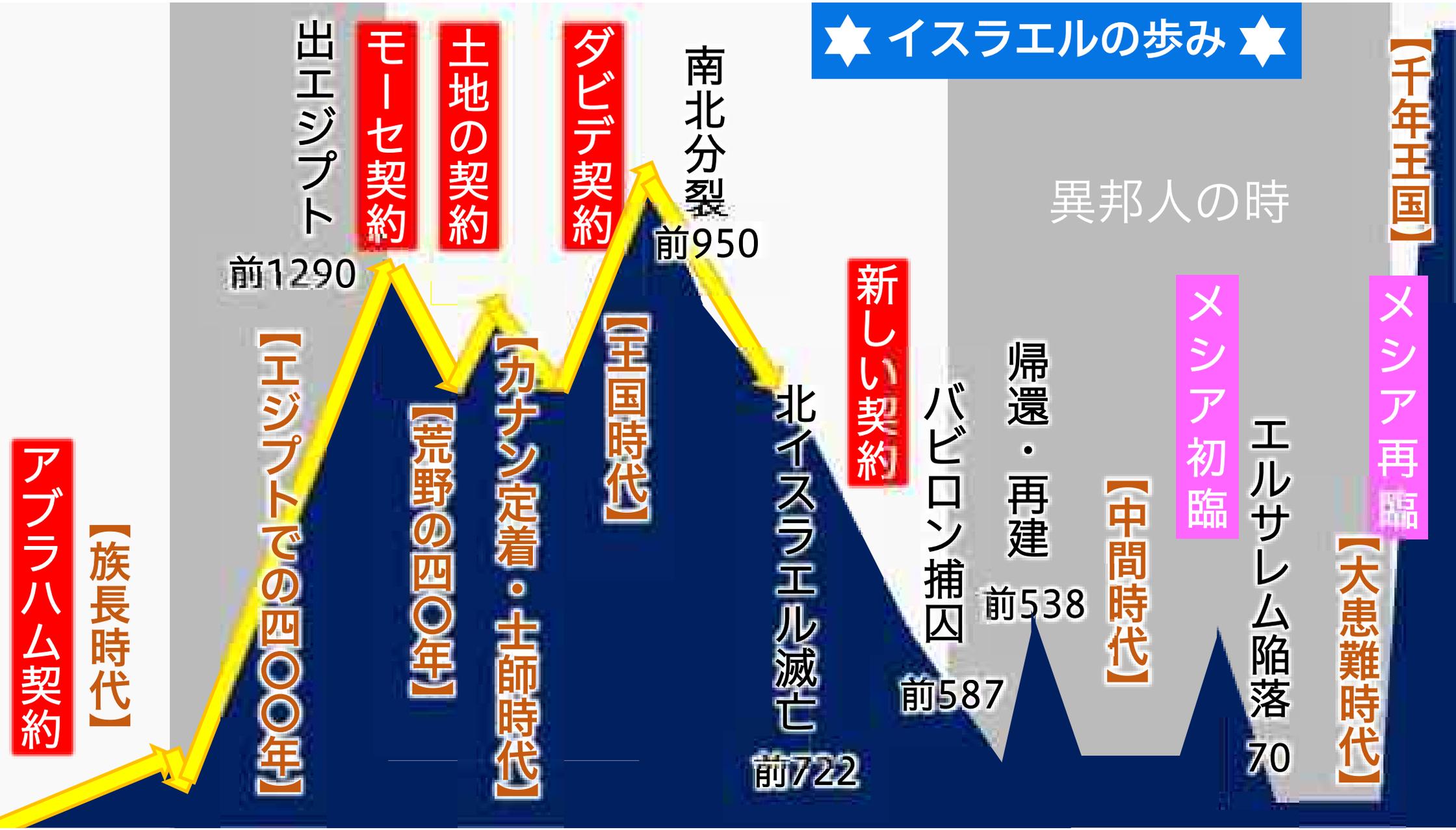
52:1~12

V. まとめと適用

ゴールを見据え、私の使命に目覚めよう



★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

前1290

【エジプトでの四〇〇年】

出エジプト

モーセ契約

【荒野の四〇年】

土地の契約

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

前950

南北分裂

前722

北イスラエル滅亡

新しい契約

前587

バビロン捕囚

前538

帰還・再建

【中間時代】

メシア初臨

エルサレム陥落 70

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

イザヤ書の構成 と イザヤの生涯

■北王国は滅亡。南王国も危機に。

→確定している裁き・バビロン捕囚

裁きの警告

■晩年のイザヤが告げたのは、捕囚を前提とした、解放の希望。

→究極の希望が、メシアによる神の王国

回復の希望

前半

後半

イザヤ書後半の構成

- ① 40～48章 イスラエルの戦いの終わり
→バビロン捕囚からの解放

メシアの影
ペルシャ王キュロス

- ② 49～57章 イスラエルの咎の赦し
→イスラエルの最終的回復

メシア

- ③ 59～66章 イスラエルが受けた罪の代価

後半の中心が、イスラエルを贖うメシア

預言書の構成





天地創造

創世記1章1節

地の再創造(エデン)

創世記1章3〜2章3節

天使の
墮落

最初のアダム
人の墮落

キリストの十字架

最後のアダム
キリストの
再臨

キリストによる
最後の裁き

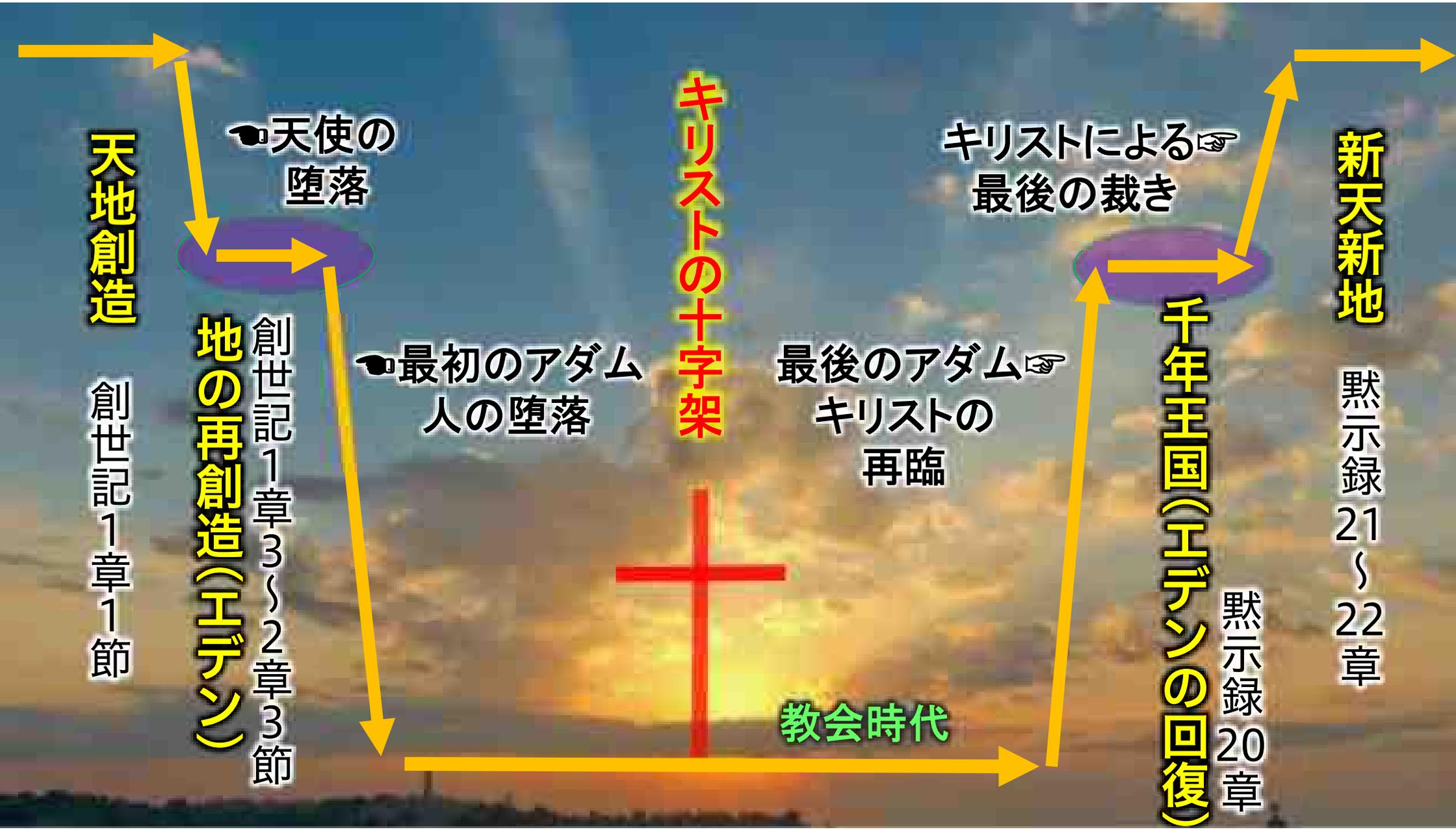
千年王国(エデンの回復)

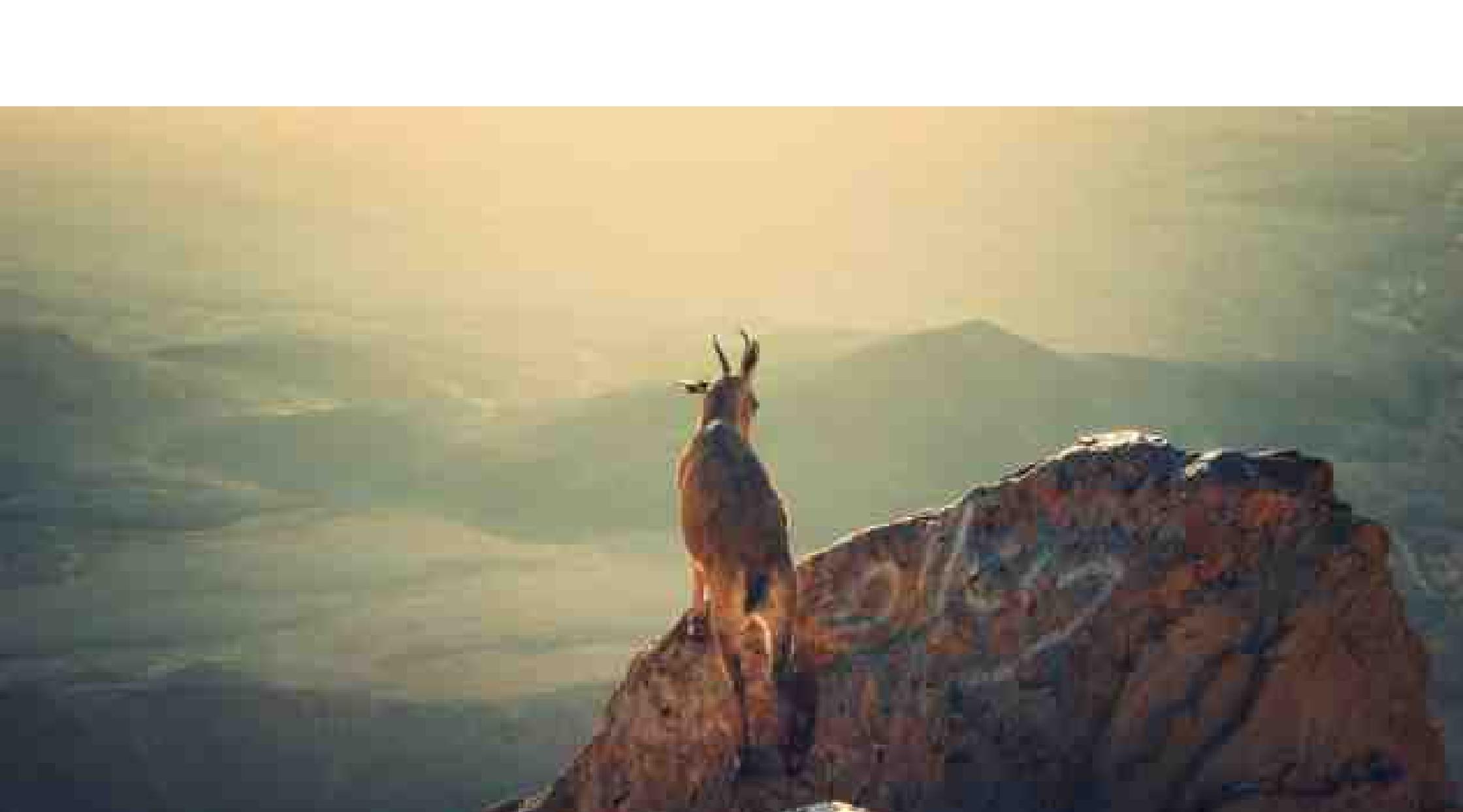
黙示録20章

新天新地

黙示録21〜22章

教会時代





Ⅰ. 残れる者への宣告

イザヤ書51章1～8節

回復 主の呼びかけ イザヤ51:1~2

「義を追い求める者、【主】を尋ね求める者*
よ、わたしに聞け。あなたがたが切り出された
岩、掘り出された穴に目を留めよ。

あなたがたの父アブラハムと、あなたがたを
産んだサラのことを考えてみよ。わたしが彼一
人を呼び出し、彼を祝福し、彼を増やしたのだ。

*イスラエルの残れる信仰者、真のイスラエル

■二組の夫婦からイスラエルを起こされた主は、
僅かな残りの者からイスラエルを復興させる。



荒野の洞穴

回復 荒野の回復 イザヤ51:3

まことに、【主】はシオンを慰め、そのすべての廃墟を慰めて、その荒野をエデン*のようにし、その砂漠を【主】の園*のようにする。そこには楽しみと喜びがあり、感謝と歌声がある。

* 墮罪前のエデンの園のように、
完全に回復されるシオンの丘、エルサレム。



アネモネの花

回復 メシアの支配 イザヤ51:4~5

わたしの民よ、わたしに心を留めよ。わたしの国民よ、わたしに耳を傾けよ。おしえ*はわたしのもとから出て、わたしが、わたしのさばき*を諸国の民の光と定めるからだ。

わたしの義*は近く、わたしの救い*は現れた。わたしの腕*は諸国の民をさばく。島々はわたしを待ち望み、わたしの腕に期待をかける。

■ 神の王国で、教え*、裁き*、義をもたらす*
神の腕*は、メシア*

わたしの義・わたしの救い = メシア



回復 神の王国 イザヤ51:6

目を天に上げよ。また、下の地を見よ。まことに、天は煙のように消え失せ、地も衣のように古びて、その上に住む者はブヨのように死ぬ。しかし、**わたしの救い**はとこしえに続き、**わたしの義**は絶えることがない。

- メシアが世界を裁き、造り変えられる。
すべての悪と罪は裁かれる。
- 主を信頼し、神に義と認められた者は、
永遠の命を生きる。

メシアの義と救いは永遠

荒野の砂嵐



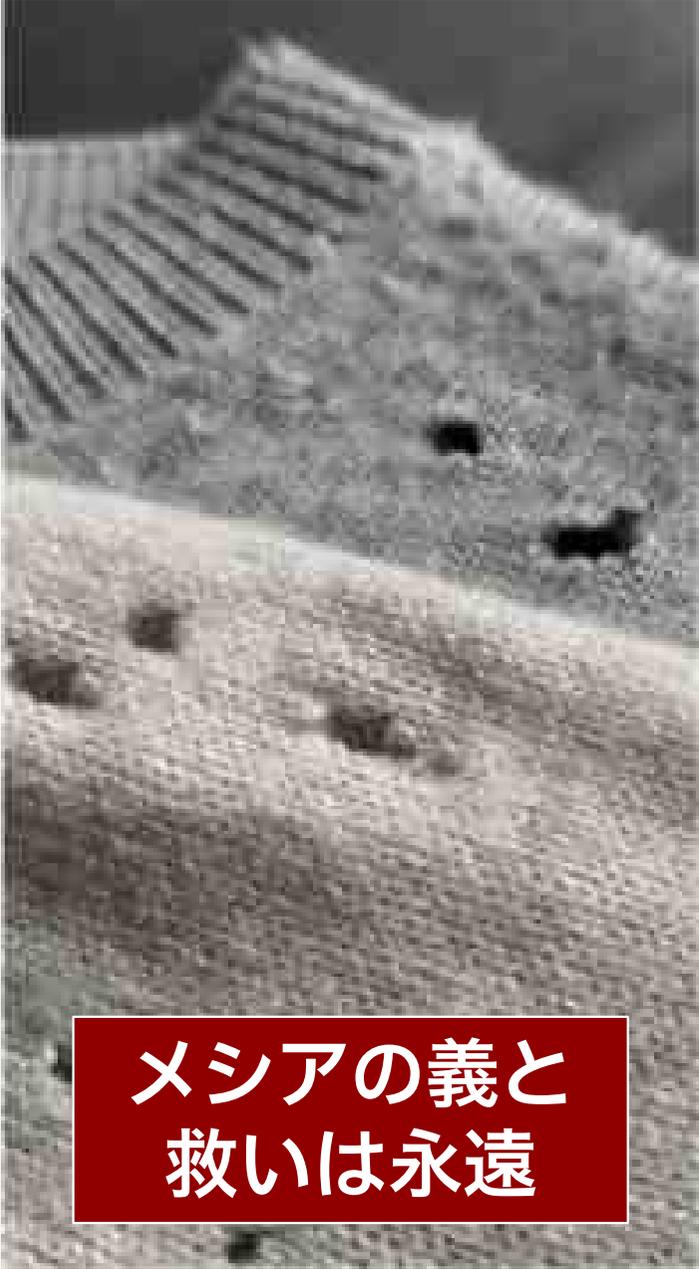
回復 信仰者への励まし イザヤ51:7~8

義を知る者*たちよ、わたしに聞け。心にわたしの
おしえを持つ民*よ、人のそしりを恐れるな。
彼らの、ののしりにくじけるな。

まことに、シミが彼らを衣のように食い尽くし、
虫が彼らを羊毛のように食い尽くす。しかし、
わたしの義はとこしえに続き、**わたしの救い**
は代々にわたる。」

*神の義を知る者 = 信じて救われた者

*心に新しい契約が刻まれた = 救われた者



メシアの義と
救いは永遠



II. 目覚めよ　メシア

イザヤ書51章9～16節

野に咲くアネモネ

目覚めよ① 出エジプト イザヤ51:9~10

目覚めよ、目覚めよ。力をまとえ、【主】の御腕*よ。目覚めよ。昔の日、いにしえの代のように。ラハブ*を切り刻み、竜を刺し殺したのは、あなたではないか。

海を、大いなる淵の水を干上がらせ、海の底に道を設けて、贖われた人々が通る*ようにしたのは、あなたではないか。

*子なる神・メシア

*エジプト(イザヤ30:7)、ファラオ(エゼ32:2)

*過ぎ越す



出エジプトを
導いたのは
メシア

回復 約束の民の帰還 イザヤ51:11

【主】に贖われた者たち*は帰って来る。彼らは喜び歌いながらシオンに入り、その頭には、とこしえの喜びを戴く。楽しみと喜びがついて来て、悲しみと嘆きは逃げ去る。

*イスラエルの残れる信仰者たち

※11節まるごと、イザヤ35:10の引用

■イザヤが改めて思い起こさせるのは、約束されたイスラエルの完全な回復。



メシアが
民を帰還させる

回復 人を恐れる者 イザヤ51:12

「わたし、わたしこそ、あなたがたを慰める者。あなたは何者なのか。死ななければならない人間*や、草にも等しい人*の子を恐れるとは。

*エノシュ …罪ある人類全般を指す言葉

*アダム …罪を犯したアダムの子孫・人間

真に恐れるべきは、メシア



回復 不信仰からの恐れ イザヤ51:13~14

天を延べ広げ、地の基を定め、あなたを造った【主】を、あなたは忘れ*、一日中、絶えず、虐げる者の憤りにおののいている。まるで滅びに定められているかのように。その虐げる者の憤りはどこにあるのか。

うずくまる捕らわれ人もすぐに解き放たれ、死んで穴に下ることはなく、パンにも事欠かない。

- 人を恐れるのは、神に信頼していない*から。
- 主に信頼する者には、主の守りがある。
たとえ肉体が滅びても、復活が待っている。



回復 万軍の主 イザヤ51:15~16

わたしはあなたの神、【主】。海をかき立て、波をとどろかせる。その名は万軍の【主】。

わたしのことばをあなたの口に置き、この手の陰にあなたをかばい*、天を置き、地の基を定め、『あなたはわたしの民だ』とシオンに言う。」

*主が裁きをくだし、また裁きから守られる。

■メシアが、罪を裁き、新しくされた世界に、イスラエルの残れる信仰者を招かれる。

いのちのことばなるメシアが王となる





Ⅲ. 目覚めよ エルサレム イザヤ書51章17～23節
～偶像礼拝から立ち返るエルサレム～

目覚めよ② エルサレム イザヤ51:17~18

目覚めよ、目覚めよ。エルサレムよ、立ち上がれ。あなたは【主】の手から憤りの杯*を飲み、よろめかす大杯*を飲み干した。

彼女が産んだすべての子らのうち、だれも彼女を導く者はなく*、彼女が育てたすべての子らのうち、だれも彼女の手を取る者はない*。

*エルサレムの偶像礼拝への、神の怒りの杯

*偶像礼拝の罪の結果、指導者不在のまま、

さまよい続けるエルサレム。➡今もなお



回復 二重の災い イザヤ51:19~20

これら二つのこと*があなたを見舞った。だれがあなたのために嘆くだろうか。暴行と破滅*、飢饉と剣*。どのようにして、あなたを慰めようか。

あなたの子たちは気を失い、すべての通りで倒れ伏す。網にかかった大かもしかのように*。彼らには、【主】の憤りと、あなたの神のとがめが満ちている。

*エルサレムに及ぶ破滅。

➔バビロニア(BC586) ➔ローマ(AD70)、

➔反キリスト(大患難時代)



回復 下らぬ裁き イザヤ51:2122

それゆえ、さあ、これを聞け。苦しむ者よ。
酔っていても酒のせいでない*者よ。

あなたの主、ご自分の民を弁護するあなたの
神*、【主】はこう言われる。「見よ。わたし
はあなたの手から、よろめかす杯を取り上げた。
あなたはわたしの憤りの大杯をもう二度と飲む
ことはない。」

*偶像礼拝に酔っている不信仰者。

*真の弁護者はメシア。

■再臨のメシアが、イスラエルをきよめ、贖う。



偶像礼拝から
立ち返る
イスラエル

回復 抑圧者の裁き イザヤ51:23

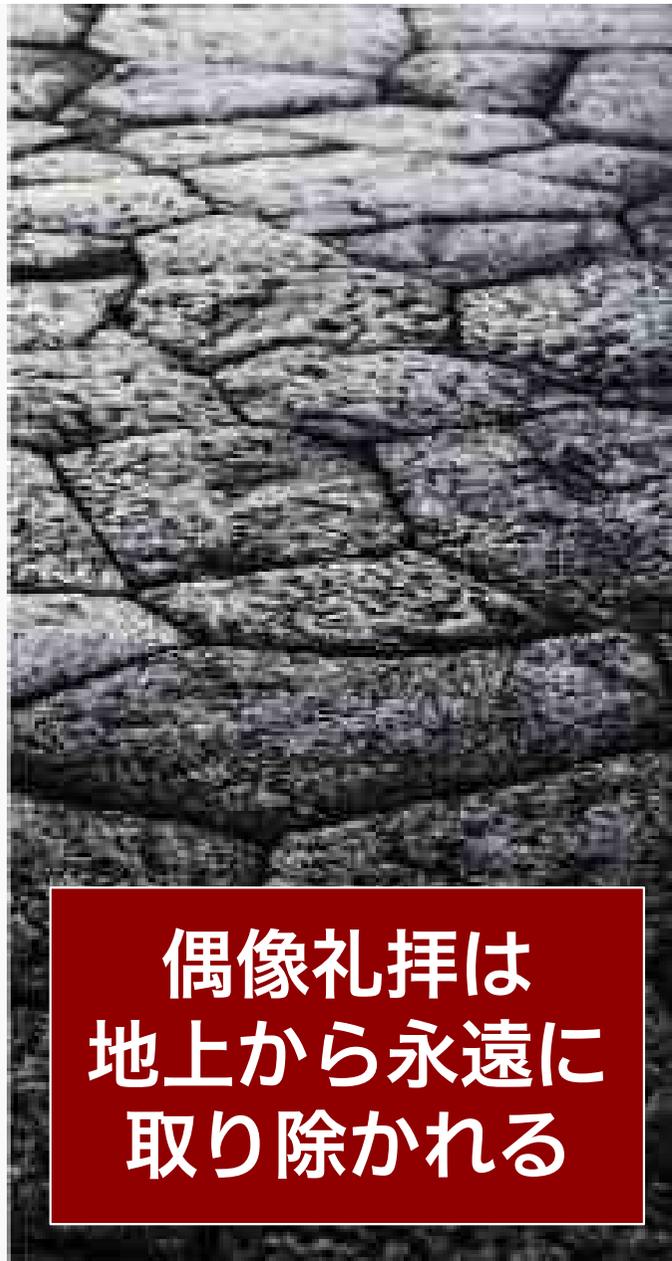
わたしはこれ*を、あなたを悩ます者たちの手に渡す。彼らは、かつてあなたに『ひれ伏せ。われわれは乗り越えて行こう*』と言った。それで、あなたは背中を地面のように、また歩道のようにして、彼らが乗り越えて行くのに任せた。」

*偶像礼拝に対する、神の怒りの杯

*征服者が求めた、全面降伏のしるし。

■エルサレムを苦しめた者たちは、神の怒りの杯を注がれ、裁かれる。

→反キリストとその軍勢は滅ぼされる。



偶像礼拝は
地上から永遠に
取り除かれる



IV. 目覚めよ 新しいエルサレム イザヤ書52章1～12節
～栄光の王・メシアの凱旋～

目覚めよ③ 新生した都 イザヤ52:1~2

目覚めよ、目覚めよ。力をまとえ、シオンよ。
あなたの美しい衣*をまとえ、聖なる都エルサレムよ。無割礼の汚れた者は、もう二度とあなたの中に入っては来ない。

ちりを払い落として立ち上がり*、元の座に着け、エルサレムよ。あなたの首からかせを振りほどけ、捕らわれの女、娘シオンよ。

*主に罪赦され、きよめられた義の衣

*嘆きと悲しみの時は終わった

➡罪の束縛から永遠に解放されるエルサレム

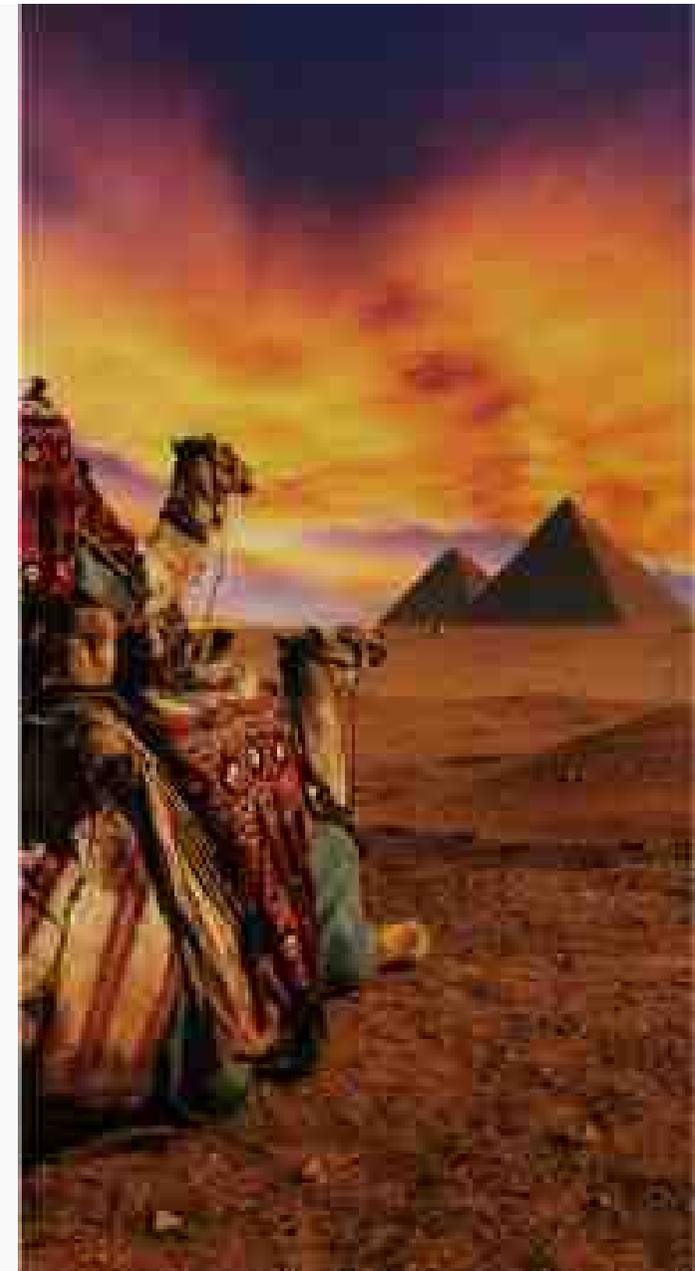


回復 イスラエルの贖い イザヤ52:3~4

まことに、【主】はこう言われる。「あなたがたは、ただで売られた。だから、金を払わずに買い戻される*」と。

まことに、【神】である主はこう言われる。「わたしの民は初め、エジプトに下って行って、そこに寄留した。また、アッシリア人がゆえなく彼らを苦しめた。」

*イスラエルの裁きの理由は、不信仰
→ただ主に立ち返って赦される。



回復 名を知らされる神 イザヤ52:5～6

さあ今、ここでわたしは何をしよう——

【主】のことば——。わたしの民はただで奪い取られ、彼らの支配者たちは悲しみ嘆いている——【主】のことば——。また、わたしの名は一日中、絶えず侮られている。

それゆえ、わたしの民はわたしの名を知る*ようになる。それゆえ、その日彼らは、わたしが『ここにわたしがいる』と告げる者であることを知るようになる。」

*主ご自身が、ご自身の栄誉を回復され、
ご自身の栄光を現される。➡主の名を知る



死海の夕景

回復 良い知らせ イザヤ52:7~8

良い知らせ*を伝える人の足は、山々の上にあって、なんと美しいことか。平和を告げ知らせ、幸いな良い知らせを伝え、救いを告げ知らせ、「あなたの神は王であられる」とシオンに言う人の足は。

あなたの見張りの声がある。彼らは声を張り上げ、ともに喜び歌っている。彼らは、【主】がシオンに戻られるのを目の当たりにするからだ。

*ブソラ …福音の語源。…神の勝利の吉報。

栄光の王メシアが勝利者として凱旋される

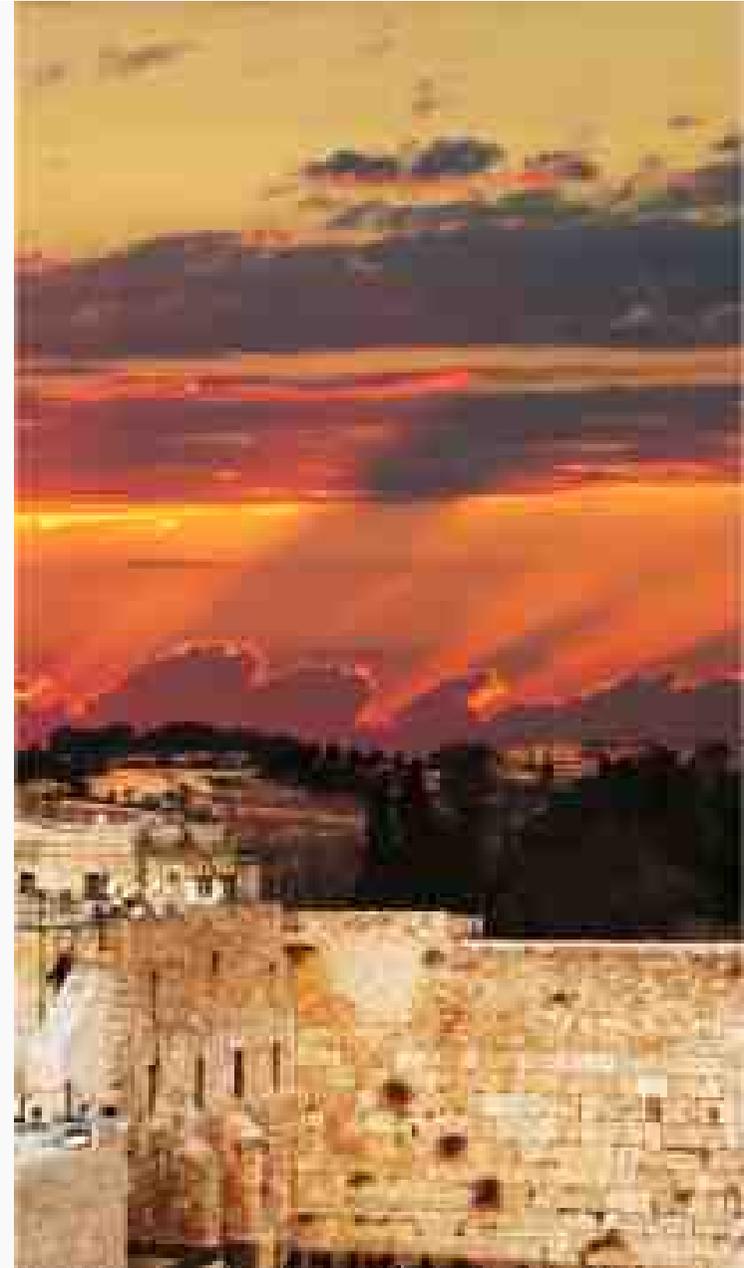


回復 喜びの歌 イザヤ52:9

エルサレムの廃墟よ、ともに大声をあげて喜び歌え。【主】がその民を慰め、エルサレムを贖われたからだ。

【主】はすべての国々の目の前に**聖なる御腕***を現された。地の果てのすべての者が私たちの**神の救い***を見る。

- 王なる主イエスの再臨こそ、ゴール。
- 栄光の王**メシア**が、全世界の民の前に顕現。信じたすべての者が神の国に入れられる。



回復 約束の民の終着点 イザヤ52:11~12

去れ、去れ。そこから出て行け。汚れたものに触れてはならない。その中から出て行き、身を清めよ。【主】の器を運ぶ者たちよ。

あなたがたは慌てて出なくてもよい。逃げるように去らなくてもよい*。【主】があなたがたの前を進み、イスラエルの神がしんがりとなられるからだ。

*出エジプト時は、急がなければならなかった。

■主イエスが永遠に、イスラエルの王となる。

→最終的な回復

イスラエルの終着点





V. まとめと適用

ゴールを見据え、私の使命に目覚めよう

死海にかかる虹

メシアについてのイザヤ書の構成

- 39章までの中心は、イスラエルと異邦人の**罪と裁きの宣告**
→時折、雲間に光が差すように、**メシア**預言が差し挟まれた。
- 40章からいよいよ、**メシア**にスポットが当てられる。
 - ① 40～48章までは、バビロン捕囚からの**キュロス王**による解放
→来るべき**メシア**の影
 - ② 49章からは、いよいよ、**メシア**その方について告げられる。
 - (1) 49～52章1～12節 …**メシア**による最終的回復
 - (2) 52章13節～53章 …**受難のメシア**による贖い

イザヤ書51～52章のまとめ

■ 51章～52章12節のテーマは、**イスラエルの最終的回復**。
→まさに、旧約預言のクライマックス。

■ 三度繰り返される、「目覚めよ」という主の呼びかけ

- ① **目覚めよメシア** …最終的回復をもたらすメシアの登場
- ② **目覚めよエルサレム** …裁きの原因となった偶像礼拝からの回心
- ③ **目覚めよ新しいエルサレム** …エルサレムの新生。民の帰還。
メシアが永遠の王となる

メシアによる最終的回復

- 「目覚めよ」の呼びかけに続くのは、一方的な神の言葉。
→ 最終的な回復は、**メシア**による一方的な神の御業
- 主ご自身が、ご自身の栄誉を回復される。
→ 「神のことば」である**メシア**が、恵みの約束を成就される。
敵を裁き、都を再建し、イスラエルを帰還させ、王となる。
- 世の終わりにも変わらない、救いの原則
→ 救いはただ、信仰により、恵みによる
贖いの**メシア**を信じた者が、神の怒りから救われる

そして、イザヤ書53章へ

- 最終的回復について宣言されたのち、
52章12節から53章が、第四のしもべの歌。メシアの受難。
→メシアの受難預言の中心が、53章。
イスラエルの贖いは、メシアの受難によって成し遂げられる。
- イスラエルと、神を恐れるすべての者に求められるのは、
私の罪のために成し遂げられたメシアの贖いを受け入れること。

「神が人となられたメシア、主イエス・キリストが、
私の罪のために十字架で死なれ、葬られ、復活された」と。

今、この時代に、第一に受け取るべき主の宣言

■ イザヤ書52章7節

良い知らせを伝える人の足は、

山々の上にあって、なんと美しいことか。

平和を告げ知らせ、幸いな良い知らせを伝え、救いを告げ知らせ、

「あなたの神は王であられる」とシオンに言う人の足は。

■ このイザヤ52:7を引用して、

使徒パウロが、救いの原則と信仰者の使命について教えている。

➡ローマ人への手紙10:9～18(次頁へ)

パウロに学ぶ 救いの原則と信仰者の使命①

■ローマ人への手紙10:9~13

なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。

人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

聖書はこう言っています。「この方に信頼する者は、だれも失望させられることがない。」

ユダヤ人とギリシア人の区別はありません。同じ主がすべての人の主であり、ご自分を呼び求めるすべての人に豊かに恵みをお与えになるからです。

「主の御名を呼び求める者はみな救われる」のです。

パウロに学ぶ 救いの原則と信仰者の使命②

■ローマ人への手紙10:14~15

しかし、信じたことのない方を、どのようにして呼び求めるのでしょうか。

聞いたことのない方を、どのようにして信じるのでしょうか。宣べ伝える人がいなければ、どのようにして聞くのでしょうか。

遣わされることがなければ、どのようにして宣べ伝えるのでしょうか。

「なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は(イザヤ52:7)」と書いてあるようにです。

パウロに学ぶ 救いの原則と信仰者の使命③

■ローマ人への手紙10:16~18

しかし、すべての人が福音に従ったのではありません。「主よ。私たちが聞いたことを、だれが信じたか」とイザヤは言っています。ですから、信仰は聞くことから始まります。聞くことは、キリストについてのことばを通して実現するのです。

では、私は尋ねます。彼らは聞かなかったのでしょうか。いいえ、むしろ、「その響きは全地に、そのことばは、世界の果てまで届いた(詩篇19:4)」のです。

パウロに学ぶ 救いの原則と信仰者の使命 (解説)

- ① ユダヤ人も異邦人も、福音を信じて、信仰と恵みにより救われる。
(※信じる = 告白する)
- ② 福音を聞かなければ、信じることはできない。
主は、福音を告げ知らせるために、信者を用い、遣わされる。
→ 福音宣教に遣わされる者は祝福される(イザヤ52:7)
- ③ 福音は、全地に届けられる。神の目にはすでに成された(詩19:4)
→ キリストの裁きの座で、誰も「知らなかった」とは言えない。

★ ゴールを見据え 私の使命に目覚めよう ★

- 今の日本で、誰でも求めれば、福音を知る機会はいくらでもある。キリストの十字架を、まったく何も知らない人がどれだけいる？
- とにもかくにも、福音を告げ、聖書を解き明かして行こう。キリストの裁きの座では、誰も言い逃れできないことも。与えられたあらゆる機会を用いて。私たちにできるのはそれだけだ。
- 悔い改めに導かれるイスラエルのように、自分自身を砕かれよう。気づかされ、砕かれ、悔い改めて、キリストの似姿に変えられよう。

ただ主の約束の御言葉だけに従い、御言葉に生きよう

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したことを信じます。

ふくいん ひと の つた お き
この福音は、すべての人に宣べ伝えられ、終わりが来ます。

しゅ みまえ し だれ い
主の御前で、「知らなかった」とは、誰も言えません。

しゅ いつく きび すく さば わたし つた
主の慈しみと厳しさを、救いと裁きのすべてを私は伝えます。

ひとり ひと すく えいこう しゅ き
どうか、一人の人を救ってください。栄光が主に帰されますように。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」